

学 則

事業所の名称 所在地	株式会社 emu 石川県金沢市窪 7 丁目 364 伏見台ガーデンコート西尾ビル 506
①開講の目的	本講座は、介護の業務に従事することを希望する者また従事している者を対象とした基礎的な職業教育の場として、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職業人として職務に従事する上での基本姿勢、基本知識・技術などを習得させることを第一とする。またよりよい福祉社会を作り上げる目線を持ち、質の高い人材を養成するものとする。
②研修事業の名称	介護職員初任者研修（全課程通信）
③実施場所	emu academy 金沢校 石川県金沢市窪 7 丁目 364 伏見台ガーデンコート西尾ビル 506
④研修期間	令和 4 年 4 月 4 日～令和 4 年 5 月 3 日
⑤研修カリキュラム	カリキュラム（別紙）を参照。
⑥講師	講師氏名（別紙）を参照。
⑦受講対象者及び定員	介護の分野に興味を持ち、意欲のある者。（定員 10 名）
⑧受講料及び支払い方法	受講料（テキスト代含む）89,000 円（消費税込） ※上記支払いは開講日までに振込みにて支払うものとする。
⑨受講手続き	「受講申込書」に必要事項を記載し、emu academy 金沢校に郵送または FAX で申込みを行う。
⑩本人確認の方法	申込み時に運転免許証、パスポート、学生証、国家資格を有する者については免許証または登録証、健康保険証、年金手帳、戸籍謄本（抄本）、住民票、住民基本台帳カード、在留カード等の提示により本人確認を行う。
⑪研修修了の認定方法	修了評価（筆記試験）を行い理解度の高い順に A=90 点以上・B=80～89 点・C=70～79 点・D=70 点未満の 4 区分に評価し、C 以上の受講者が評価基準を満たしたものとして認定する。 D 判定の不合格者については、再度評価実施する。 （再評価料：1 回 2,100 円）
⑫補講の方法及び取扱い	1. 本研修は指定された全教科を受講し、認定基準を満たしたと認定されなければ修了することはできない。 2. やむを得ない理由により全教科を受講することができない場合には、下記の通り補講を受けることができる。 やむを得ない理由：天災地変、台風、交通機関等のストライキ、病気、怪我（証明のできる書類の提出を求めるものとする）その他やむを得ない事由として当校が認めるもの。 3. 本研修は全課程通信により行うため、修了後当校が行う実技演習補講を受けることができる。 補講の方法：当校開講の全課程通信者用補講を受講する。

⑬解約条件及び返金の有無	<p>応募者が2名以下の場合、開講しないこともありうる。</p> <p>不開講の場合、受講料及びテキスト代は全額返金する。</p> <p>受講生からのキャンセルは開講5日前まで無料。</p> <p>4日前～前日のキャンセルは受講料の半額を徴収する。</p> <p>研修開始後に受講生がキャンセルした場合は、理由の如何にかかわらず、受講料及びテキスト代の返金はしない。</p>
⑭退所	<p>当校は、次の者を退所させることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講継続意思がなく受講の中止を申し出た者。 2. 学習意欲の欠如または成績不良等により修了の見込みがないと認められる者。 3. 不適切な態度また言動により他受講生に迷惑をかける者。 4. 素行不良で、改善の見込みがないと認められる者。 5. その他、研修の受講を継続することが客観的に見て不相当と認められる者。
⑮受講者の個人情報の取扱い	<p>受講者から得た個人情報については、本校の定めるところによる個人情報管理の基本方針（プライバシーポリシー）に基づき、厳正に管理を行うものとする。</p>
⑯研修責任者名及び連絡先	<p>株式会社 emu 代表取締役 村木 睦</p> <p>電話番号：076-214-6755</p>
⑰新型コロナウイルス感染症影響下限りの臨時的な取扱い	<p>本研修は新型コロナウイルス感染症影響下限りの臨時的な取扱いとして全課程通信で行います。本取扱い廃止後も引き続き訪問介護員としての業務に従事することを希望される方や実務者研修等での修了認定（科目免除）を受けることを希望される方は、スクーリング形式での補講を受講いただくとともに、業務への従事開始に伴い、事業所が行うOJT等を受けていただく必要がございますのでご留意ください。</p> <p>※別紙 「新型コロナウイルス感染症に係る介護員養成研修（介護職員初任者研修・生活援助従事者研修）の臨時的な取扱いについての留意事項」参照</p> <p>（本校で補講を実施予定です。）</p>
⑱修了証について	<p>本研修は全課程通信の為、修了証には全課程通信者の記載のある修了証を発行致します。</p> <p>OJT等の実施及び補講の受講の確認後、通常の課程（通学・一部通信）と同様の修了証明書が発行されます。</p>

(別紙2)

カリキュラム＜講義と演習＞

科目の細目	講義と演習の実施方法
1. 職務の理解 (6 時間)	
①多様なサービスの理解 (3 時間)	<ul style="list-style-type: none">・介護保険による居宅サービス、施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。・介護保険外のサービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する。
②介護職の仕事内容や働く現場の理解 (3 時間)	<ul style="list-style-type: none">・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供に至るまでの流れを理解する。・チームアプローチの必要性と、具体的な連携方法を理解する。
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (9 時間)	
①人権と尊厳を支える介護 (4.5 時間)	<ul style="list-style-type: none">・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ。・介護に関する基本的な視点 (ICF, QOL, ノーマライゼーション) について理解する。・利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。
②自立に向けた介護 (4.5 時間)	<ul style="list-style-type: none">・介護における自立とは何かを学ぶ。・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。・介護の予防の考え方について理解する。
3. 介護の基本 (6 時間)	
①介護職の役割、専門性と多職種との連携 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none">・介護環境の特徴 (施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など) を学ぶ。・介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。
②介護職の職業倫理 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none">・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。・日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職にかかわる倫理綱領を理解する。
③介護における安全の確保とリスクマネジメント (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none">・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。

科目の細目	講義と演習の実施方法
④介護職の安全 (1.5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。 ・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障害について学ぶ。 ・介護職自身の健康管理の方法（病気や障害の予防と対策）について学ぶ。
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	
①介護保険制度 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。 ・介護保険制度の基本的なしくみを理解する。 ・介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。
②医療との連携とリハビリテーション (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職と医療行為の実情と経過について理解する。 ・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。 ・リハビリテーションの理念と考え方について理解する。
③障害者自立支援制度およびその他制度 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度における障害の概念について、その歩みをふまえて学ぶ。 ・障害者自立支援制度の基本的なしくみについて理解する。
5. 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	
①介護におけるコミュニケーション (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。 ・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。 ・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。
②介護におけるチームのコミュニケーション (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。 ・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。 ・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。

科目の細目	講義と演習の実施方法
6. 老化の理解 (6 時間)	
①老化に伴うこころとからだの変化と日常 (3 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・老化についての考え方や学説について理解する。 ・老化が及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。 ・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。 ・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。
②高齢者と健康 (3 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多くにみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。 ・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する。
7. 認知症の理解 (6 時間)	
①認知症を取り巻く状況 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症を中心としたケア」から、「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。 ・問題視するのではなく、人として接することを理解する。 ・できないことではなく、できることをみて支援することを理解する。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する。 ・認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。 ・アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ。
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ。 ・認知症の人の行動と環境との関係について理解する。 ・病気の症状があっても、その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。
④家族への支援 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ。 ・家族とは助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。

科目の細目	講義と演習の実施方法
8. 障害の理解 (3 時間)	
①障害の基礎的理解 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害とはどういうものなのか」という考え方を学ぶ。 ・ I C F (国際生活機能分類) に基づきながら、「障害」の概念について理解する。 ・ 障害者福祉の基本理念 (ノーマライゼーション, リハビリテーション, インクルージョン) について理解する。
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の原因となる主な疾患を理解する。 ・ 障害に伴う心理的影響, 障害の受容を理解する。 ・ 障害のある人の生活を理解し, 介護上の留意点について学ぶ。
③家族の心理、かかわり支援の理解 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族支援は, 家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。 ・ わが国に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ。
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)	
①基本知識の学習 (12 時間)	
①介護の基本的な考え方 (4 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「介護」が理論的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。 ・ 「介護」が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (4 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。 ・ 感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。 ・ 自己概念と生きがい, 老化や障害の受容に関する基礎的知識を理解する。
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (4 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命の維持・恒常のしくみを理解する。 ・ 骨や関節など, からだの動きのメカニズムを理解する。 ・ 神経の種類と, そのはたらきを理解する。 ・ 眼や耳, 心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する。
②生活支援技術の講義・演習 (53 時間)	
④生活と家事 (1.5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。 ・ 家事援助 (調理, 洗濯, 掃除などの援助) は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。 ・ 家事援助とは何かについて具体的に理解する。

科目の細目	講義と演習の実施方法
⑤快適な居住環境整備と介護 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。 ・住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ。 ・高齢者や障害のある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。
⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・整容の必要性と、整容に関連したところとからだのしくみを理解する。 ・利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける。
⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗の必要性と、移動・移乗に関連したところとからだのしくみを理解する。 ・利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける。 ・心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響について理解する。
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の必要性と、食事に関連したところとからだのしくみを理解する。 ・利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。 ・心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連したところとからだのしくみを理解する。 ・利用者本人の力を活用し、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける。 ・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解する。
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の必要性と、排泄に関連したところとからだのしくみを理解する。 ・利用者本人の力を活用し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につける。 ・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。

科目の細目	講義と演習の実施方法
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (3 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の必要性と、睡眠に関連するところとからだのしくみを理解する。 ・心地よい睡眠を支援するための知識と技術を身につける。 ・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 (3.5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期のとらえ方を学ぶ。 ・終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。 ・死に直面したときの人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。
③生活支援技術演習 (10 時間)	
⑬介護過程の基礎的理解 (7 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的、意義、介護過程について事例を上げて理解させる。
⑭総合生活支援技術演習 (3 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ある状態の利用者を想定し、一連の生活支援を演習し、実践する。
10. 振り返り (4 時間)	
①振り返り (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修についての振り返りを実施する。
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修 (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・就業に向け、自分に足りない知識や取り組む課題を明確にし、日々の挑戦に落とし込む。
合計	130 時間

(別紙様式 2 1)

通信学習日程表

研 修 期 間：令和 4 年 4 月 4 日～令和 4 年 5 月 3 日

通信最終締切日：令和 4 年 4 月 28 日

提出回	科目の細目	科目の細目ごとの提出期限
第 1 回	1. 職務の理解	令和 4 年 4 月 12 日
	①多様なサービスの理解	
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	
	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	
	①人権と尊厳を支える介護	
	②自立に向けた介護	
	3. 介護の基本	
	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	
	②介護職の職業倫理	
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	④介護職の安全	
第 2 回	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	令和 4 年 4 月 19 日
	①介護保険制度	
	②医療との連携とリハビリテーション	
	③障害者自立支援制度およびその他制度	
	5. 介護におけるコミュニケーション技術	
	①介護におけるコミュニケーション	
	②介護におけるチームのコミュニケーション	
	6. 老化の理解	
	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	
	②高齢者と健康	
	7. 認知症の理解	
	①認知症を取り巻く状況	
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康	
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
	④家族への支援	
	8. 障害の理解	
	①障害の基礎的理解	
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
③家族の心理、かかわり支援の理解		

提出回	科目の細目	科目の細目ごとの提出期限
第3回	9. ころとからだのしくみと生活支援技術	令和4年4月25日
	①介護の基本的な考え方	
	②介護に関するころのしくみの基礎的理解	
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
	④生活と家事	
	⑤快適な居住環境整備と介護	
	⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	⑧食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	⑨入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	⑩排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	⑪睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	⑫死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護	
	⑬介護過程の基礎的理解	
	⑭総合生活支援技術演習	
	10. 振り返り	
①振り返り		
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修		
第4回	修了評価	令和4年4月28日

添削指導方法及び認定方法

【添削指導方法】

- 添削課題については開講時テキストとともに配布し、質問事項に関しては、「質問書」において常時FAX、又は電話等にて受付ける。
受付した質問については、個別に対応する。
添削課題を提出期限までに郵送にて提出してもらう。
テキスト：中央法規・介護職員初任者研修テキスト使用

【添削認定方法】

- 理解度の高い順にA=90点以上・B=80~89点・C=70~79点・D=70点未満の4区分に評価し、C以上の受講者が評価基準を満たしたものとして認定する。
D評価の不合格者については、再度評価を実施する。

知識の修得及び技術の修得の確認方法書

研修課程 介護職員初任者研修

1 知識の修得

各科目の通信課題を行い、各科目 7 割以上の正解で評価基準を満たしたものと認定する。
満たない場合は再度評価を行う。

全科目修了時に筆記試験を行い、理解度の高い順に A=90 点以上・B=80～89 点・C=70～79 点・D=70 点未満の 4 区分に評価し、C 以上の受講者が評価基準を満たしたものと認定する。

D 判定の不合格者については、再度評価実施を行う。

2 技術の修得

通信期間はDVD教材で個人実技を行う。また通信課題により確認する。
補講にて実技演習を行い習得状況の確認を行う。

【講師一覧】

氏名	所属	担当科目	講師の経歴	資格・免許
村木 睦	(株)emu	①職務の理解 ⑩振り返り	平成24年7月～現在 介護保険施設の管理者として勤務	介護保険施設管理者
松井 紀恵	(株)emu	①職務の理解 ②介護における尊厳の保持・自立支援 ③介護の基本 ④介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ⑤介護におけるコミュニケーション技術 ⑥老化の理解 ⑦認知症の理解 ⑧障害の理解 ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術 ⑩振り返り	平成3年4月～平成5年3月 平成24年12月～現在 介護福祉施設にて介護職(介護福祉士)として勤務	介護福祉士
村木 智哉	(株)emu	①職務の理解 ②介護における尊厳の保持・自立支援 ③介護の基本 ④介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ⑤介護におけるコミュニケーション技術 ⑥老化の理解 ⑦認知症の理解 ⑧障害の理解 ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術 ⑩振り返り	平成28年4月～現在 介護福祉施設にて介護職(介護福祉士)として勤務	介護福祉士

【研修機関情報】

施設名 emu academy 金沢校

施設住所 〒921-8151 金沢市窪7丁目364 伏見台ガーデンコート西尾ビル506

施設状況 Room①29.1㎡ Room②9.72㎡

介護用ベット、車椅子、ポータブルトイレなど福祉用品完備

理念 「どんな人にも笑顔で感謝する心を。謙虚な姿勢で常に努力を。」

メッセージ 介護技術を習得し、介護職員として期待される人材に共に成長しましょう！

研修の特徴 "エミュアカデミーでは、介護の業務に従事することを希望する人や、既に働きながら学びたい人にも無理なく受講できるプログラムを提供いたします。

受講申込先 emu academy 金沢校まで

【研修実施実績】

平成24年度	・介護職員基礎研修（150時間）	延べ参加人数28名
	・介護員養成研修（2級課程）	延べ参加人数19名
平成25年度～	・介護職員初任者研修	延べ参加人数104名（R4年2月時点）
	・介護職員初任者研修（一部通信）	延べ参加人数108名（R4年2月時点）

【受講者の声】

- ・介護の仕事に就くのに、emuで学べて自信ができました。
- ・実務経験がある先生からの授業はとても勉強になりました。
- ・介護知識だけではなく、社会人としてどうあるべきかその他にも大変勉強になりました。今後の人生に活かしていきたいです。

【連絡先】

苦情対応 〒921-8151 金沢市窪7丁目364 伏見台ガーデンコート西尾ビル506

emu academy 金沢校

☎076-214-6755 担当 北岸 仁美